

# イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)

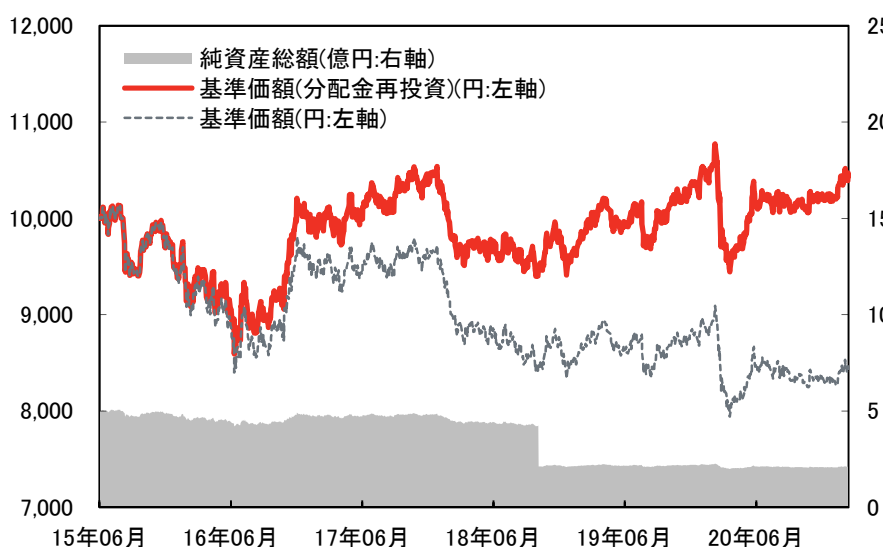
追加型投信／海外／債券

月次運用レポート(販売用資料)

作成基準日: 2021年2月26日

設定日: 2015年6月16日  
 決算日: 毎月20日(休業日の場合は翌営業日)  
 信託期間: 2015年6月16日～2025年5月20日

## 基準価額・純資産総額の推移／ファンドの運用状況



2021年2月26日現在

基準価額: 8,439 円  
 前月末比: +52 円  
 純資産総額: 2.1 億円  
 前月末比: +0.0 億円

### 期間別運用実績(騰落率)

ファンド	
1ヵ月	1.0%
3ヵ月	2.4%
6ヵ月	3.1%
1年	-0.2%
3年	6.4%
設定来	4.4%

※基準価額は、ファンド設定日の前営業日を10,000として表示しています。  
 ※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。  
 ※基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後かつ税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。  
 ※ファンドの期間別運用実績は、基準価額(分配金再投資)をもとに計算した騰落率です。  
 ※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## 分配の推移(1万口当たり、税引前) 直近12期分

決算期	第57期 2020/3/23	第58期 2020/4/20	第59期 2020/5/20	第60期 2020/6/22	第61期 2020/7/20	第62期 2020/8/20	第63期 2020/9/23
分配金	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円
決算期	第64期 2020/10/20	第65期 2020/11/20	第66期 2020/12/21	第67期 2021/1/20	第68期 2021/2/22	設定来累計	
分配金	30 円	30 円	30 円	30 円	30 円	1,890 円	

※分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

(注)当資料では、「イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)」および「イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)」をそれぞれ「毎月決算型」「年2回決算型」ということがあります。また総称して、あるいは個別に「当ファンド」ということがあります。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。  
 また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

# イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド (年2回決算型)

追加型投信／海外／債券

月次運用レポート(販売用資料)

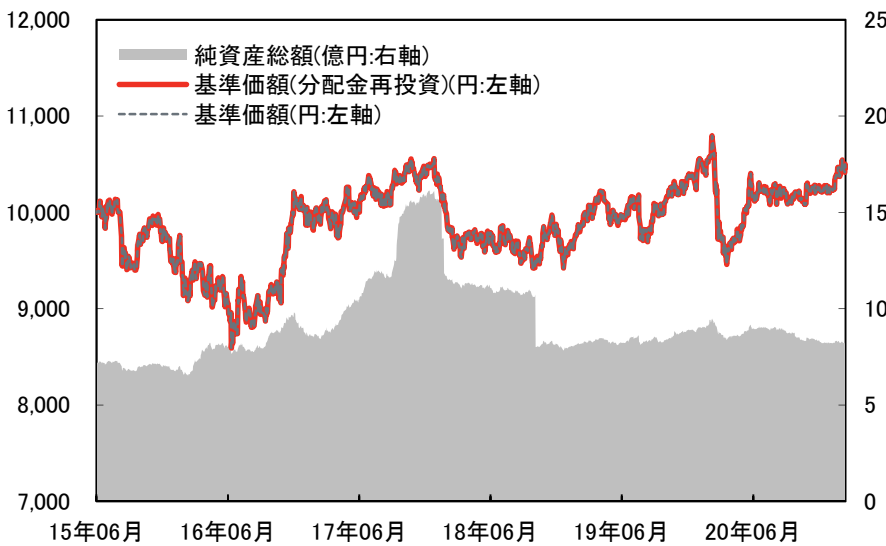
作成基準日: 2021年2月26日

設定日: 2015年6月16日

決算日: 毎年5月20日および11月20日(休業日の場合は翌営業日)

信託期間: 2015年6月16日～2025年5月20日

## 基準価額・純資産総額の推移／ファンドの運用状況



2021年2月26日現在

基準価額:	10,467 円
前月末比:	+102 円
純資産総額:	8.2 億円
前月末比:	-0.1 億円

### 期間別運用実績(騰落率)

ファンド	
1ヵ月	1.0%
3ヵ月	2.4%
6ヵ月	3.1%
1年	-0.2%
3年	6.4%
設定来	4.7%

※基準価額は、ファンド設定日の前営業日を10,000として表示しています。  
 ※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。  
 ※基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後かつ税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。  
 ※ファンドの期間別運用実績は、基準価額(分配金再投資)をもとに計算した騰落率です。  
 ※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## 分配の推移(1万口当たり、税引前)

決算期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
	2015/11/20	2016/5/20	2016/11/21	2017/5/22	2017/11/20	2018/5/21	2018/11/20
分配金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
決算期	第8期	第9期	第10期	第11期	設定来累計		
	2019/5/20	2019/11/20	2020/5/20	2020/11/20			
分配金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円		

※分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

(注)当資料では、「イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)」および「イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)」をそれぞれ「毎月決算型」「年2回決算型」ということがあります。また総称して、あるいは個別に「当ファンド」ということがあります。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。  
 また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# イーストスプリング・ アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次運用レポート(販売用資料)

作成基準日: 2021年2月26日

## マザーファンドの運用状況

### 資産別組入状況

資産の種類	比率
国債	6.1%
社債(政府機関債含む)	84.7%
その他の債券	0.0%
小計	90.8%
現金等	9.2%
合計	100.0%

### 債券ポートフォリオの概要

平均クーポン	5.6%
平均直接利回り	5.4%
平均最終利回り	4.5%
平均デュレーション	4.0年
組入銘柄数	31

### 格付別構成比率

AAA	0.0%
AA	4.5%
A	22.9%
BBB	44.2%
BB	6.4%
B	0.0%
CCC以下	0.0%
無格付	22.0%

### 業種別構成比率

電力・公益	25.8%
通信	19.3%
石油・ガス	13.5%
インフラ金融(港湾関連)	8.2%
港湾・空港	7.0%
国債	6.7%
インフラ金融(電力)	6.2%
道路・鉄道	4.5%
銀行	4.2%
インフラ金融(総合)	2.3%
輸送・物流	2.3%

### 通貨別構成比率

米ドル	56.8%
インドネシアルピア	20.8%
インドルピー	15.3%
シンガポールドル	4.5%
フィリピンペソ	2.6%

### 国・地域別構成比率

インドネシア	27.9%
インド	20.6%
中国	17.1%
オーストラリア	9.2%
シンガポール	9.0%
フィリピン	7.3%
香港	4.5%
タイ	4.5%

#### インフラ金融とは:

インフラ金融とは、金融機関がプロジェクト開発計画の調査・立案から参画して必要な資金を融資するプロジェクトファイナンスのうち、インフラ関連に融資することをいいます。インフラ金融会社はそれを専門に行う企業です。

(注) 当ファンドは、ファミリーファンド方式を採用し、「イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券マザーファンド」および「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の公益インフラ債券に投資します。

※「資産別組入状況」の比率は、各マザーファンドにおける純資産総額に対する比率と当ファンドが保有するマザーファンド割合から算出しています。

※「債券ポートフォリオの概要」は各マザーファンドにおける各項目の値と当ファンドが保有するマザーファンド割合から算出しています。

※格付けは、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、イーストスプリング・インベストメンツが独自の基準で採用したものです。

※業種は、当ファンドの運用方針に基づき、当社が独自の基準で分類したものです。

※国・地域は、BloombergのCountry of Riskで分類しています。

※「格付別構成比率」、「業種別構成比率」、「通貨別構成比率」および「国・地域別構成比率」は、各マザーファンドにおける組入債券評価額の合計に対する比率と当ファンドが保有するマザーファンド割合から算出しています。四捨五入の関係上、合計値が100%にならないことがあります。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。  
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# イーストスプリング・ アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次運用レポート(販売用資料)

作成基準日: 2021年2月26日

## マザーファンドの運用状況

### 組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	国・地域	利率	償還日	比率	銘柄の概要
1	オースネット・サービス・ホールディングス	米ドル	オーストラリア	5.750%	2076/3/17	9.2%	持株会社。子会社を通じてオーストラリア・ビクトリア州で送電・ガス配給などのエネルギー事業を展開する。
2	パワー・グリッド・コーポレーション・オブ・インド	ルピー	インド	8.930%	2025/10/20	7.2%	電力供給施設および通信関連施設の設置・運営を行うインド最大級の国営送電会社。
3	ロイヤル・キャピタルBV	米ドル	フィリピン	4.875%	-	4.7%	港湾運営会社インターナショナル・コンテナ・ターミナル・サービスへのファイナンスを行う特別目的事業体。
4	シンガポール・テクノロジー・テレメディア	シンガポールドル	シンガポール	5.000%	-	4.5%	固定、モバイル、インターネットプラットフォームを介して情報、通信、娯楽サービスを提供する情報通信会社。
5	インドサット	ルピア	インドネシア	8.650%	2027/11/9	4.2%	インターネット、マルチメディア、データ・コミュニケーションなどのサービスを提供する通信サービス会社。
6	インドサット	ルピア	インドネシア	8.550%	2022/5/31	4.2%	インターネット、マルチメディア、データ・コミュニケーションなどのサービスを提供する通信サービス会社。
7	バンク・メイバンク・インドネシア	ルピア	インドネシア	8.000%	2022/7/11	4.2%	預金、融資、外国為替取引、貿易金融、投資関連サービスなどを提供する商業銀行。
8	ペルサハーン・リストラク・ネガラ	ルピア	インドネシア	7.700%	2022/7/11	4.2%	発電、送電、配電を手掛けるインドネシアの国営電力会社。
9	インド国債	ルピー	インド	7.270%	2026/4/8	4.1%	国債
10	タワー・ベルサマ・インフラストラクチャー	ルピア	インドネシア	9.250%	2021/7/1	4.1%	インドネシアにおいて携帯電話会社向けに通信インフラサービスを提供する。

※比率は、各マザーファンドにおける組入債券評価額の合計に対する比率と当ファンドが保有するマザーファンド割合から算出しています。

※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。

※国・地域は、BloombergのCountry of Riskで分類しています。

※償還日に「-」と表示されている銘柄は償還期限の定めのない永久債です。

※銘柄の概要は、組入銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、特定の銘柄の推奨や将来の値動きを示唆するものではありません。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。  
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# イーストスプリング・ アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次運用レポート(販売用資料)

作成基準日: 2021年2月26日

## 運用コメント

### 【投資環境】

2月のアジア・オセアニアの米ドル建て債券市場の価格は、前月末比でやや下落(利回りは上昇)しました。新型コロナウイルスのワクチン接種が世界的に加速したことや商品価格の上昇、米国での財政支出拡大の可能性の高まりなどを背景に米国債利回りは急上昇しました。一方で社債の対国債スプレッドは相対的に格付けの低い社債を中心に縮小し、セクター別では特に金属・鉱業セクターが縮小しました。

アジア・オセアニア現地通貨建て債券市場の価格は、米国債の下落を受けて弱含みとなりました。特にシンガポールやタイなどの債券の利回りが大幅上昇となりました。インドの債券もコアインフレ率の上昇と国債の増発懸念から利回りが上昇しました。一方、中国の債券は中央銀行の流動性供給に支えられ利回りは低下しました。

為替市場では、米ドル高傾向が強まる中、円が対米ドルで下落したため、アジア・オセアニアの通貨は対円で堅調となりました。

### 【投資行動】

当月は利子収入と為替市場で円安となったことなどが基準価額の主な上昇要因となりました。個別銘柄では、オーストラリアの電力会社が発行する米ドル建て債券、フィリピンの運輸会社が発行する米ドル建て債券の保有などが大きなプラス要因となりました。一方で、インドネシアの石油・ガス会社の発行する米ドル建て債券、タイの石油精製会社が発行する米ドル建て債券などの保有はマイナス要因となりました。当月はポートフォリオの変更はありませんでした。2月末時点での債券の組入比率は90.8%となりました。

### 【今後の見通し】

アジア地域の新型コロナウイルスの感染状況は欧米と比較して低い水準に抑えられており、経済の早期回復の可能性があると考えています。デフォルトリスクについては相対的に低いとみています。2021年は新型コロナのワクチンが世界的に供給される見通しから経済の回復ペースは加速すると予想しています。2月は世界的な景気回復を見込んだ投資行動が活況となりましたが、依然として主要国のインフレ率は低い水準となっています。今後も、各国の財政・金融政策は景気回復を下支えするために緩和的スタンスが維持されるとみており、金利のさらなる上昇は抑制されると予想しています。一方で、良好なマクロ環境と魅力的な金利水準を背景に、アジア経済の発展を支える公益、インフラ事業関連の債券についても中期的に強気の見方を維持しています。現地通貨建て債券については、インド、インドネシアなどの高利回りの現地通貨建て債券の組入比率を高位で維持する方針です。これらの国における公益・インフラ事業への需要は高く、関連企業は今後も恩恵を受けるものとみており、相対的にみて経済を取り巻くファンダメンタルズについても好調を維持すると考えています。

※運用コメントは作成時点での投資環境や今後の見通しを示したものであり、将来の運用成果や市場動向を保証するものではありません。

また、将来の市場環境の変動等により、その内容が予告なく変更される場合があります。

※運用コメントは、マザーファンドの運用を担当するファンド・マネジャーのコメントをもとにイーストスプリング・インベストメンツが作成したものです。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。  
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



販売会社一覧 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込先

<毎月決算型>

金融商品取引業者等	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※上記は当資料作成時点での予定を含む情報を記載しています。

<年2回決算型>

金融商品取引業者等	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社		○	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	

※上記は当資料作成時点での予定を含む情報を記載しています。

照会先:  
**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**  
 TEL.03-5224-3400  
 (受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)  
 ホームページアドレス <https://www.eastspring.co.jp/>

ご留意事項

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○投資信託は、預貯金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。○ご購入の際は、あらかじめ販売会社がお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。